



柏建 原市設 新庁舎通 信

令和2年度 8月

Vol. 9

各階床スラブコンクリート打設

梅雨も明け暑い日が続く夏本番となりました！8月のメインとなる作業は、7月に組みあがった鉄骨の各階床にコンクリートを順番に打設していく作業となりました！

◎各階に打設した日付とコンクリート量としては次のとおりです！

7月29日に2階下段床スラブ約320㎡

8月5日に3階下段床スラブと、2階上段床スラブ合わせて約270㎡



2階 外部倉庫床配筋



2階 フロア床配筋

11日に4階下段床スラブと、3階上段床スラブ合わせて約200㎡

18日に4階上段床スラブ約195㎡

20日に5階床スラブ約260㎡

22日に1階部分の腰壁部分約50㎡

27日に2階スラブ立上り部分の7㎡の打設を行っており、8月末までのスラブコンクリートの打設総量は約1,300㎡の打設を行いました！



監理者配筋検査



コンクリート打設

床スラブの打設に上段と下段で2度コンクリートを打設しているのは設備配管や配線を通すためにコンクリート床に段差を設ける必要があるため、上段と下段に分けて打設を行っております。

コンクリート打設前には監理者による配筋検査が行われ鉄筋が図面通りに配筋されているか、抜け落ちや鉄筋径の違いが無いかなどの入念な確認作業が行われます。

屋上床スラブコンクリートの打設は9月に行われますが、鉄骨建方～8月中までにこれだけの打設工事が完了いたしました！



コンクリート打設後(ならし)



コンクリート打設後(腰壁部分)

頭付きスタッド！

頭付きスタッドとは床スラブコンクリート打設時に、鉄骨の梁部分とスラブのコンクリートが一体化するようにボルト状の鋼棒のことです。

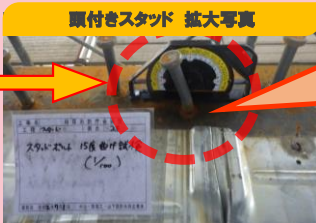
一定の間隔を空け溶接にて鉄骨材に接合を行います。

溶接後の検査として打撃曲げ試験を行います。15度まで曲がるまで打撃を加え、溶接部に割れの欠陥が生じなければ合格となります。

ちなみに、曲げられたスタッドに欠陥のない場合はそのままコンクリートの打設を行っても品質に問題はありません。



頭付きスタッド溶接後フロア



頭付きスタッド 拡大写真

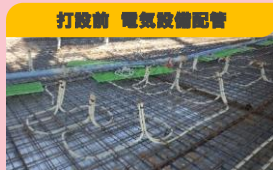
打撃曲げ試験

電気設備配管！

建物には多くの電気設備機器が設置されており、それらに電気を送るための配管が、建物内に張り巡らされています。

その中でもスラブ配管は、コンクリート床に埋め込む配管工事です。コンセントや、照明などの配線を通すために施工します！

床から配管を立ち上げることで、間仕切り壁への配線が隠された状態で施工することができ、壁の仕上がりがスッキリして見栄え良く完成することができます。



打設前 電気設備配管



打設後 電気設備配管

ロングスパンエレベーター設置！

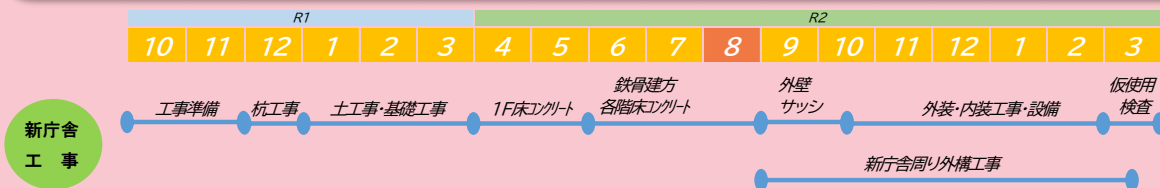
新庁舎の西側に建設工事用のロングスパンエレベーターが設置されました！

各階のコンクリートスラブが完成し、降り口を整備すれば各階にて搬入することが出来るようになり、9月から本格的に使用していきます！

このエレベーターのおかげで、建設資材の揚げ降ろしがやりやすくなります！



新庁舎建設工事 令和2年度スケジュール



582-8555
大阪府柏原市安堂町1番55号
柏原市役所 総務部庁舎整備室
TEL: 072-920-7175
E-Mail: choshaseibi@city.kashiwara.lg.jp